

## (2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		11,761	95	13,057	95	105	92	4	0.1	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産は、12月からの寒波で出荷量が減少、今後の天候にもよるが2月の出荷量も大幅な回復は期待できず急増はない見込み。神奈川産は12月から低温でやや小ぶり傾向で中心となっているが、2月中旬頃から春系品種に切り替わり肥大も回復してくる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は1月より下がってくるものの前年をやや上回る見込み。
にんじん		6,629	103	7,226	151	80	103	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉は少雨の影響で平年の8割の出荷ペースとなっているが、2月も同じ傾向で推移する見込み。埼玉産もやや小ぶり傾向となっているが、不作であった前年は上回る見込み。昨年は、関東産の不作から大幅に入荷量が減少し価格が高騰したが、今年も昨年ほどではないもののやや不作ぎみで2月一杯は回復は見込めず、1月全体の入荷量は前年をやや上回るものの平年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回るものの、平年より高値で推移する見込み。
はくさい		12,090	100	12,114	71	100	64	-	-	茨城、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城、群馬産は低温の影響による肥大不良も回復し、現在の生育は概ね順調で出荷量は前年並の見込み。全体の入荷量、価格ともほぼ平年並の見込み。
ほうれんそう		2,020	100	2,237	373	100	354	2	0.1	群馬、埼玉、茨城、千葉の関東産中心の入荷で全体の約9割を占める。群馬産は低温の影響は回復傾向にあるものの、まだ短めのものも入荷されており、完全に回復するのは2月中旬以降の見込み。埼玉産も低温・干ばつの影響で生育が停滞していたが、1月中旬以降気温も緩み、2月の出荷量は平年並となる見込み。全体の入荷量、価格は前年並の見込み。
キャベツ類		11,518	105	13,587	138	75	101	-	-	愛知、千葉産、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。愛知、神奈川産は低温による生育の遅れも回復過程にあり、2月は前年並の出荷となる見込み。千葉産は、低温、干ばつによる生育の遅れが回復しておらず、2月もやや少なめの出荷で平年並に回復するのは3月下旬になる見込み。全体の入荷量は不作であった前年を上回り、価格は高騰した前年を下まわる見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ねぎ		4,815	95	4,831	229	108	216	21	0.4	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は、低温の影響で生育が止まっており出荷ペースは遅れ気味となっているが、2月もこのままのペースでの出荷となる見込み。埼玉産の生育は順調で、2月の出荷は前年並の見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
レタス類		5,704	100	6,492	214	118	287	-	-	静岡、香川産が市況をリードする。静岡産は11月以降の干ばつと寒波の影響で生育は1週間程度遅れており、2月下旬頃から平年並にもどる見込み。香川産も寒波により生育が遅れているが、2月中旬頃には回復する見込み。全体の入荷量は前年並、価格は安値であった前年を上回るが平年は下回る見込み。
きゅうり		4,741	92	5,404	382	95	338	-	-	千葉を中心とした関東産と宮崎、高知などの暖地産が市況をリードする。千葉、高知産ともに低温により果実肥大が緩慢で、少なかった前年をやや下回る状況が続いており2月も同じペースで推移する見込み。全体の入荷量は生育の遅れと併せて重油代の高騰の影響もあり少なかった前年を下回り、価格は平年を上回るが前年をやや下回る見込み。
なす		1,682	102	1,899	440	92	418	-	-	高知産中心の入荷で全体の約8割を占める。高知産は低温の影響で生育やや遅れているものの、2月の出荷はほぼ前年並の見込み。全体の入荷量はほぼ前年並、価格は高値であった前年を下回る見込み。
トマト		4,943	100	5,215	363	96	343	-	-	熊本、愛知、及び栃木、千葉を中心とする関東産が市況をリードする。熊本産はやや小玉傾向ではあるものの寒波による着色の遅れも回復傾向にあり、2月は平年並の出荷となる見込み。千葉産は現在やや谷間となっているが、春トマトがはじまる2月中旬以降は増加してくる見込み。全体の入荷量は少なかった前年並、価格は高値であった前年をやや下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ピーマン		1,249	95	1,338	695	98	670	-	-	茨城、宮崎、高知産中心の入荷で全体の約9割を占める。茨城産は加温ものの出荷となるが低温の影響をやや受けており、2月は平年を下回る出荷となる見込み。宮崎産は低温の影響で草勢がやや低下しており、果実肥大もやや遅れ気味となっているため、2月の出荷量は少なかった前年をさらに下回る見込み。全体の入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格はほぼ前年並の見込み。
ばれいしょ		7,813	95	8,192	119	100	115	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は、春先の低温・干ばつの影響によりやや小玉傾向で出荷量は少なかった前年並。長崎産は12月の寒波の影響によりやや小玉傾向で出荷量は前年をやや下回る見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。
たまねぎ		9,188	102	9,654	112	95	96	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は小玉傾向ではあるが、品質は良好。全体的に入荷量は前年並、価格はやや小玉のため前年を下回る見込み。